

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 委員発言要旨

日時：平成30年2月23日（金）14:00～16:00

場所：トキハ会館5階「ローズ」

No.	項目	発言要旨
1	子育て	<p>保育所には入所していないがちょっと預けたいという一時預かりのニーズが非常に多いと現場では感じている。預かる側としては、保護者との信頼関係ができていない中で急に初めての子どもを預かるというのは、安心面、スキル、人手不足などの問題がある。</p> <p>そのような中で、もし何かあってからでは遅いので、一時預かりを実施している関係機関に対して人手が足りているか等の再度の意識付けをしてほしい。</p>
2	子育て	<p>未婚率が高い現状のなか、適齢期世代の女性から「特に男性のお尻を叩いてほしい」という話を聞いた。昔よくいた「とにかく会ってみて」とお世話してくれる「おせっかいおばちゃん&おじちゃん」が今こそ必要ではないだろうか。出会いサポートセンターに加えて、カップルを成立（結婚）させたら奨励金を渡すような制度があってもよいのではないかと思う。</p>
3	介護	<p>国は介護分野の外国人技能実習生に、2年目の日本語能力試験に「N3」の資格を要件としているが、非常に難しい要件である。外国人技能実習生が日本よりハードルの低い台湾や東南アジアの国に流れないようにするためにも、日本語能力の要件緩和を県から国に要望してほしい。</p>
4	交通安全	<p>高齢者の事故防止対策として、高齢者を対象にした教育や環境整備に加えて、青壮年向けに高齢ドライバーの特徴を教育するなど、高齢ドライバーに受容的な環境づくりの取組を実施してほしい。</p>
5	食の安全・安心	<p>食育大会の議論やオリンピックの食関係のところでもオーガニックの話題がでてきており、世界的な規模でオーガニックの波が押し寄せてきていることが話題になっているが、今回の資料には見当たらない。今はまだ小さくても今後その流れができてくる場合に、県としても何か対策を練っておかないと遅れていくと思うので検討してほしい。</p>
6	食育	<p>食育推進全国大会（6/23-24開催）については、実行委員会等の委員のみなさんと議論しながら練り上げているところだが、「食」は観光にも、経済にも地方創生にもつながっていくものであると思うので、みなさんにご協力いただいたり、興味・関心を持っていただきたい。</p>

No.	項目	発言要旨
7	防災	大分県は「喉元過ぎれば、災害が起きないんじゃないか」という県民意識が強い。防災対策を進めるには、例えば防災ベッド(ベッド型耐震シェルター)等を発想を柔軟にして進めていかないと対策が進まない。防災ベッドに対して補助金の対象を拡げてほしい。
8	防災	災害時の県民へ情報提供のための防災情報アプリの開発はよいが、緊急時の充電ができなければアプリを活用できないので、インフラとしての充電設備の整備をあわせて検討してほしい。
9	防災	土砂災害警戒区域等の基礎調査は、これまで漏れている箇所もあるかと思うので、きちんと調査してほしい。併せて、調査・指定して終わりではなく、避難所が危険な場所にないかなど、きちんと調査したうえで整備してほしい。
10	農林水産業	大分県は他の九州各県と比べて水田の比率が高いため、国の減反政策以前に畑地化・園芸化を進めていかなければいけない。実際に畑地化し、園芸品目を導入するにあたっては、水の問題や周囲の農地環境にまで目配せをしてもらえともっとスムーズに進むと思う。そのような中で、元々農業経営というより地域を守るため、水田を守るために営んでいる集落営農法人では、なかなか園芸化が進みにくい。このままでは、かなりの数の組織が消滅するおそれがあるため、県にもきちんとフォローをお願いしたい。
11	農林水産業	畜産農家は小規模な農家が多く、大型化の取組をしっかりとやっていかないといけない。規模が小さいためになかなか単価が上がらず、そのため生産者数が減っていくという負のスパイラルに入っていくことを懸念している。
12	商工業	台風第18号災害に係る小規模事業者持続化支援事業について、3月末までに実績報告を提出というスケジュールがタイトだという話を聞いた。今回の津久見のケースでは、手続きの簡素化等、スケジュールを含めて弾力的な運用をしてほしい。また、こうした災害は県に限らず全国でも今後起こりうる話であるため、国も巻き込んで、被災事業者が簡素な手続きで申請、事業再開、実績報告できることを踏まえた制度設計を検討してほしい。
13	商工業	小規模事業者支援について、単に経営指導員等の人の増員だけでなく、指導員の質の向上も非常に重要。人を増やすだけでなく、いかに小規模事業者の利益の向上に貢献し、持続可能となることができたかどうかまでしっかりと事業評価をしてほしい。

No.	項目	発言要旨
14	商工業	<p>津久見の災害を機にお店を閉めようという高齢の商店主の話がたくさんあると聞きショックを受けたが、県の支援策があったので何とか残ったという話も聞いた。今の若い人の中には地域に根ざしてそれなりに自分の仕事に対してプライドを持って働きたいというやる気のある方も多くいるので、そういう方と田舎の商店、飲食店等を結びつけ、事業の継承に繋げるような窓口が日常的にあるような地域のあり方も検討していいのかなと思う。</p> <p>また、商店やカレーの味を継承するような事業承継についても総合的な取組の中で何かできればいいと思う。</p>
15	商工業	<p>最近、東京では九州という一括りのものに対して非常に魅力を感じていて、大分県はまず九州ナンバーワンを目指すのがよいのではないかという話を聞いた。県産品の福岡での販路開拓をしっかりと支援していただきたい。</p>
16	商工業	<p>今後、ラグビーワールドカップ等もあるが、インバウンドの問題でキャッシュレスの体制整備が非常に遅れているのでそのインフラづくりへの支援をお願いしたい。</p>
17	観光	<p>大分県の観光では、インバウンドは増えているが国内のお客さんが減っているという現状である。情報発信が弱く、特に関東への情報発信がまだまだ少ないのではないかという話も聞くので、大分の各地の魅力を面として捉えたいという現状である。情報発信が弱く、特に関東への情報発信がまだまだ少ないのではないかという話も聞くので、大分の各地の魅力を面として捉えたいという現状である。情報発信が弱く、特に関東への情報発信がまだまだ少ないのではないかという話も聞くので、大分の各地の魅力を面として捉えたいという現状である。</p>
18	観光	<p>おんせん県おおいたの拠点である別府市において、夜型観光メニューの開発が待たれる。観光客が夜間でも楽しむことができる複数の遊興施設をつくる必要があり、カジノの建設を含めて関係事業者と協働して開発していただきたい。</p>
19	教育	<p>私を知る限り、一部の県立高校を除いて、高校の空調は全てPTAが設置している。私に関わっている高校でも特別教室棟の一部にエアコンがついていないということで、PTAでの設置を検討している。今やエアコンなしでは、健康管理の観点からも夏の学習は難しくなっており、大分市では全ての小中学校にエアコンを設置する計画もある。県でも健康管理、人材育成という視点で県立高校へのエアコンの導入を前向きに検討してほしい。</p>
20	教育	<p>コミュニティ・スクールを円滑に立ち上げて、きちんと効果を出すための予算措置をお願いしたい。また、成功の鍵となるコーディネーターの派遣等についても検討してほしい。</p>